

第4次熊本市歯科保健基本計画（第3次健康くまもと21第7章） 令和6年度の取組について

計画の方針に基づいて施策を推進

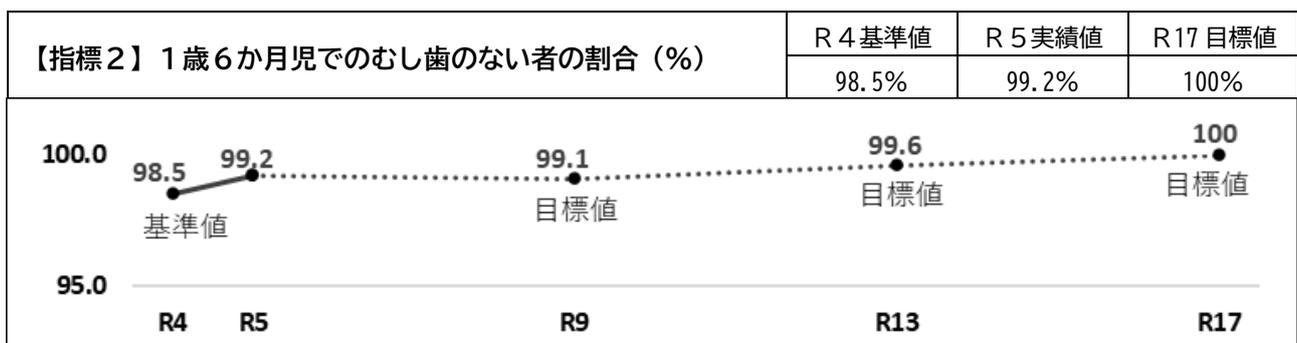
- I ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進
（歯科疾患の予防、口腔機能の獲得・維持・向上）
- II 定期的に歯科検（健）診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進
- III 誰もが等しく歯と口腔の健康づくりができる社会の環境整備

I ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進 （歯科疾患の予防、口腔機能の獲得・維持・向上）

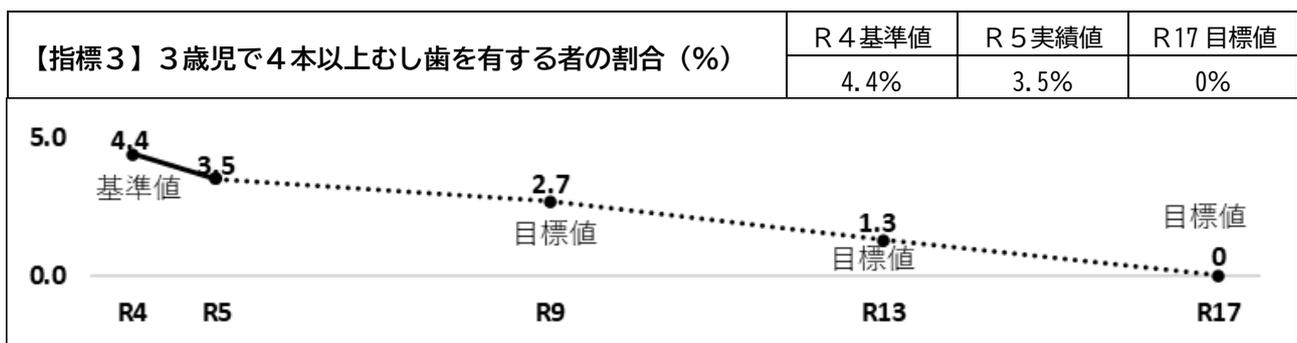
（1）歯科疾患の予防（①むし歯）

現状と課題

- ① 1歳6か月児及び3歳児のむし歯のない者の割合は年々増加しているものの（指標2、4）、政令指定都市20市の中で最もむし歯有病率が高い状況である。▶第1期アクションプラン
- ② 3歳児で4本以上むし歯がある者が令和5年度は令和4年度に比べて減少したものの（指標3）、該当する202人のうち10本以上むし歯がある者は32人であった。健康格差縮小のため早いうちからの啓発が必要である。
- ③ 12歳児の約3割にむし歯がある（指標7）。▶第1期アクションプラン
- ④ 20歳以上で未処置歯を有する者が約3割となっており（指標10）、成人期以降もむし歯予防対策が必要である。

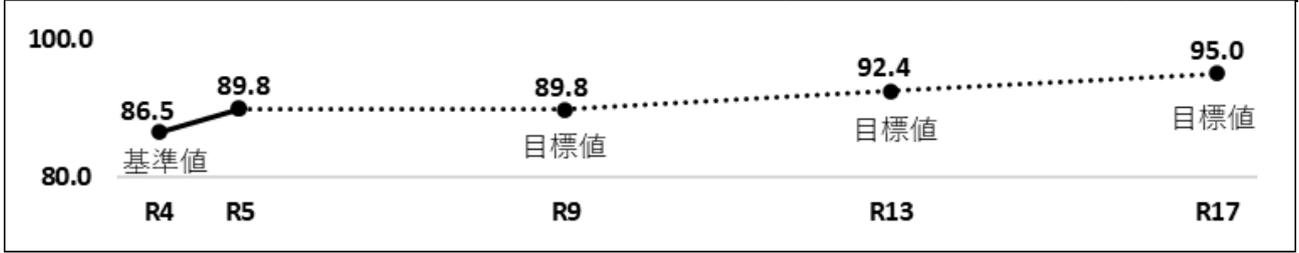


出典：1歳6か月児歯科健診結果



出典：3歳児歯科健診結果

【指標4】3歳児でむし歯のない者の割合 (%)	R 4 基準値	R 5 実績値	R 17 目標値
	86.5%	89.8%	95%



出典：3歳児歯科健診結果

【指標7】12歳児でむし歯のない者の割合 (%)	R 4 基準値	R 5 実績値	R 17 目標値
	72.3%	74.4%	90%



出典：熊本県状況調査

【指標10】20歳以上における未処置歯を有する者の割合 (%)	R4~5 基準値	R4~5 実績値	R17 目標値
	30.7%	30.7%	25%



出典：R4 歯周病検診、R4 後期高齢者歯科口腔健診、R5 成人歯科実態調査

【指標15】60歳以上における未処置の根面う蝕を有する者の割合 (%)	R 5 基準値	R 5 実績値	R 17 目標値
	3.9%	3.9%	減少

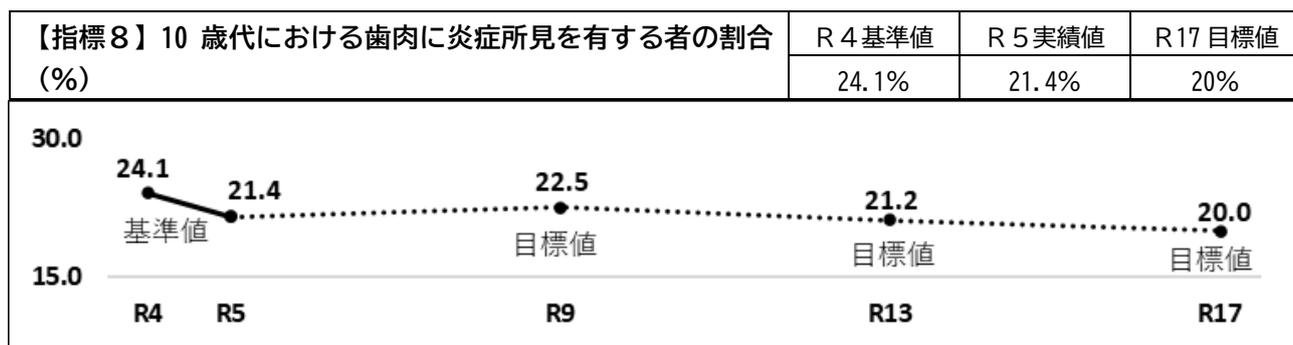


出典：R5 成人歯科実態調査

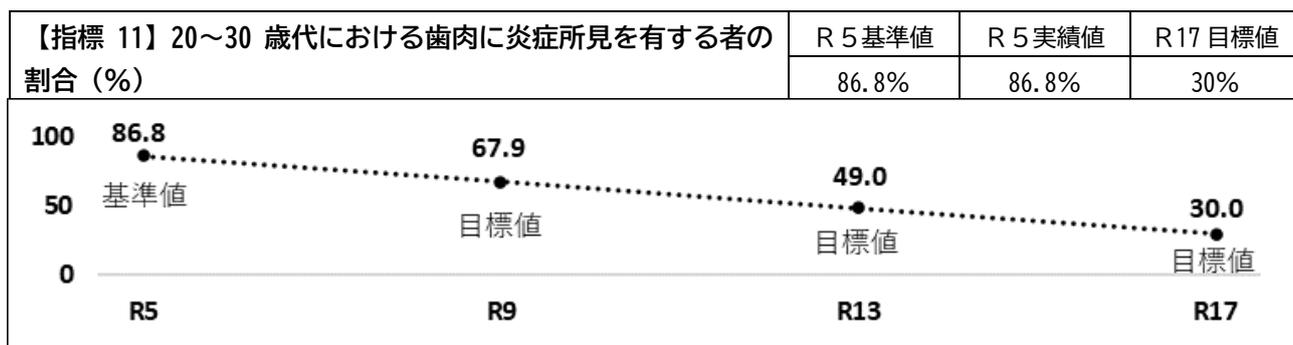
(1) 歯科疾患の予防 (②歯周病)

現状と課題

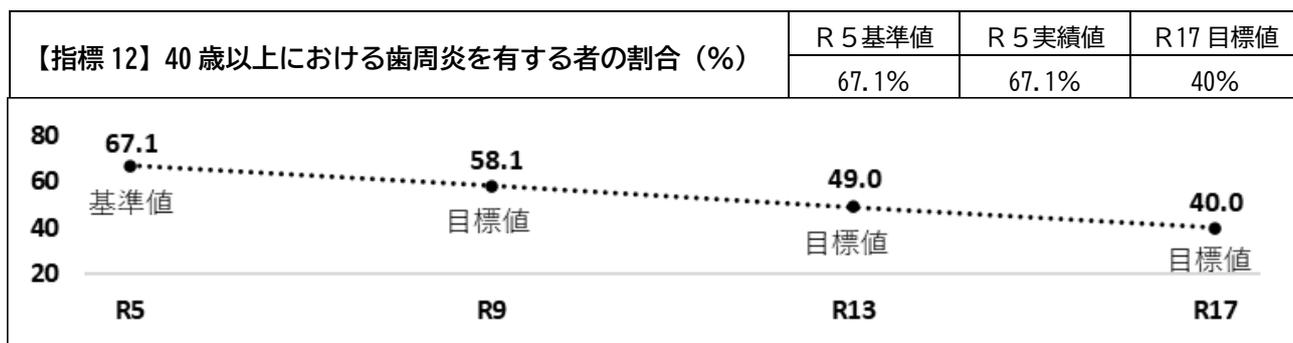
- ① 10歳代で歯肉に炎症所見を有する者が令和5年度21.4%あり(指標8)、学齢期から歯肉炎予防に取り組む必要がある。
- ② 20~30歳代の歯肉に炎症が所見を有する者が8割を超えており(指標11)、早いうちから歯周病予防(発症予防)に取り組む必要がある。▶第1期アクションプラン
- ③ 40歳以上の歯周炎を有する者も多く(指標12)、40歳以降は歯周病の発症だけでなく重症化させないことも重要である。
- ④ 歯周病と喫煙の関係を知っている者は64.4%であり(指標19)、更なる啓発が必要である。



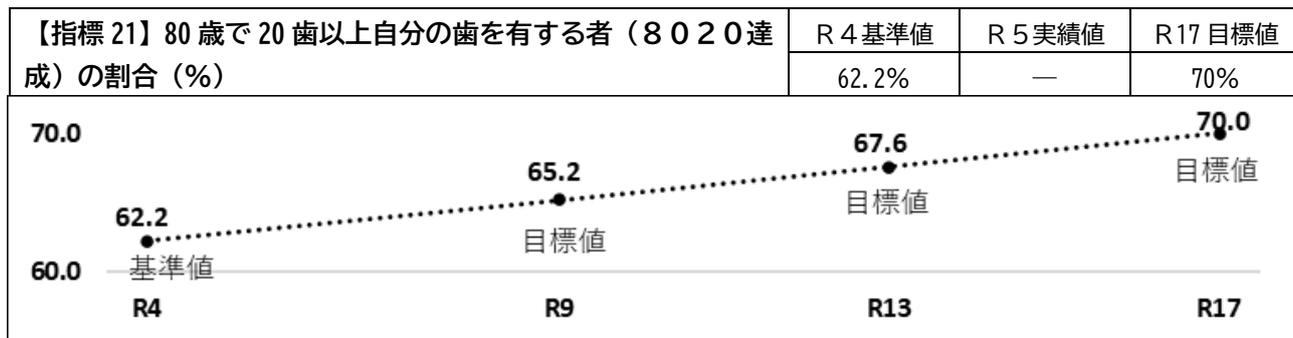
出典：熊本県状況調査



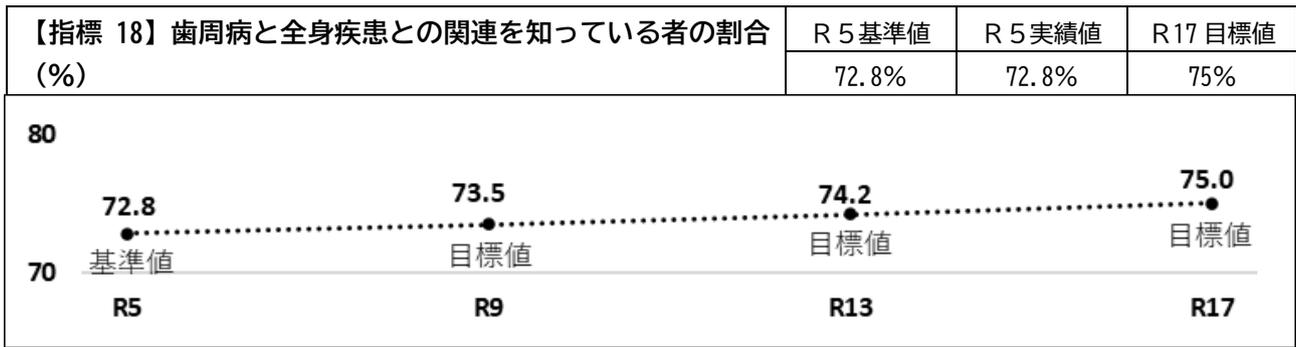
出典：R5成人歯科実態調査



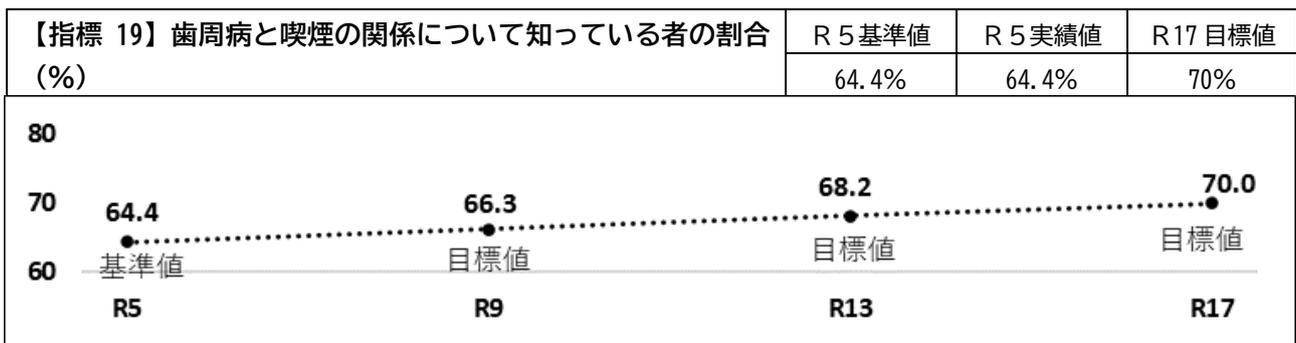
出典：R4歯周病検診、R4後期高齢者歯科口腔健診、R5成人歯科実態調査



出典：後期高齢者歯科口腔健診



出典：健康づくりに関する市民アンケート

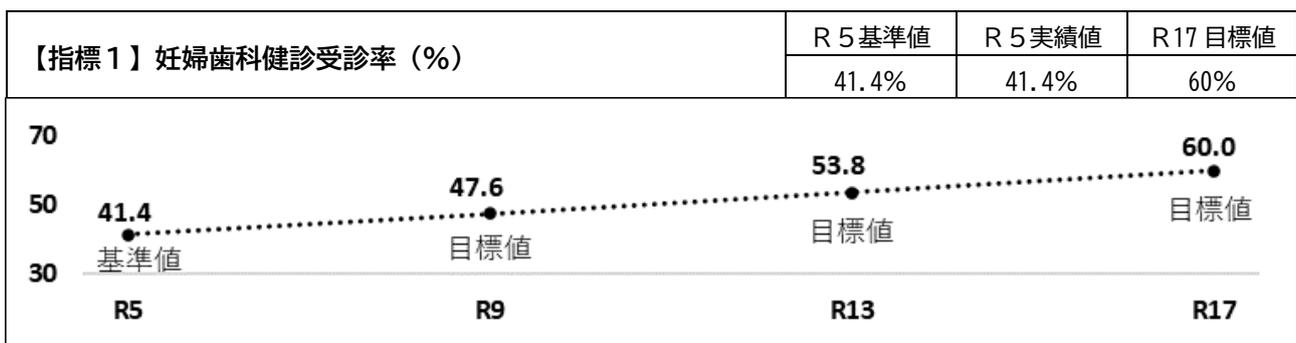


出典：健康づくりに関する市民アンケート

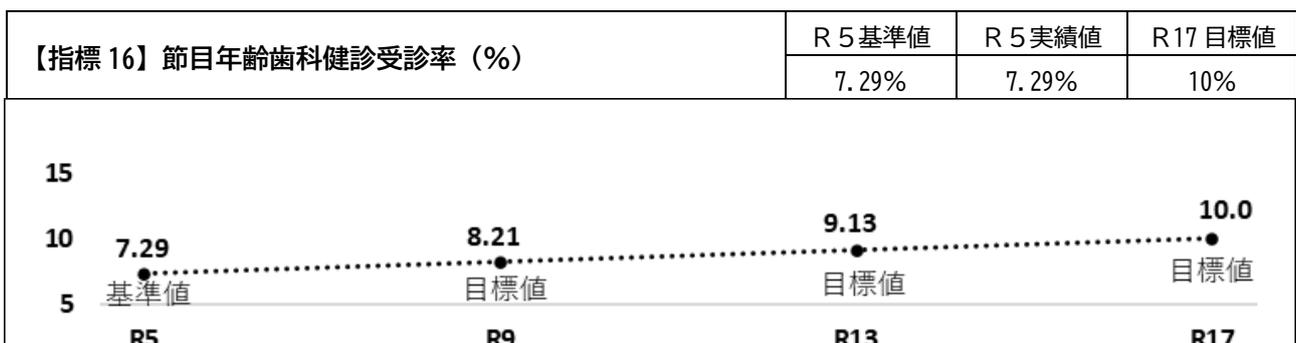
(1) 歯科疾患の予防 (③歯科検 (健) 診)

現状と課題

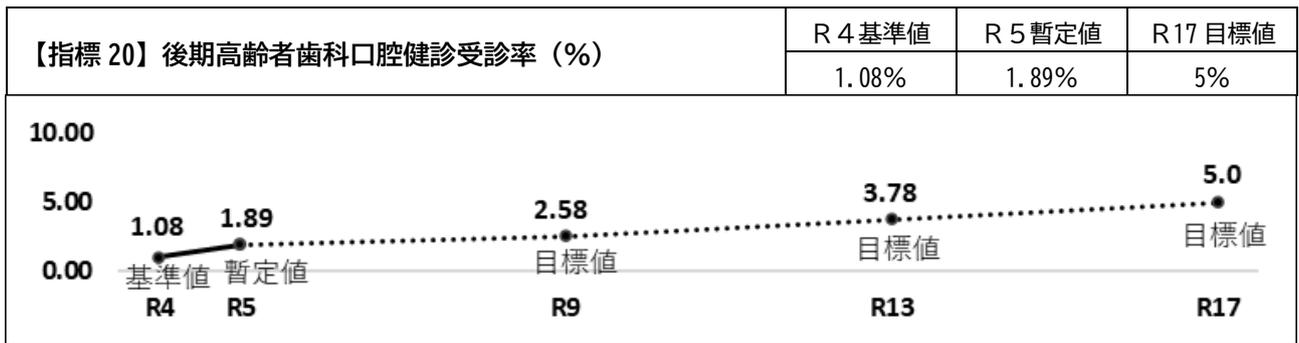
- 令和5年度から妊婦歯科健診実施形態が変わったため、妊婦歯科健診の受診率 (指標 1) が下がった (R 4 : 57.9%、R 5 : 41.4%)。▶第 1 期アクションプラン
- 節目年齢歯科健診は個別勧奨通知を実施しており、令和5年度の受診率 (指標 16) が大きく上がった R 4 : 1.33%、R 5 : 7.29%)。
- 後期高齢者歯科口腔健診の受診率 (指標 20) が伸びない。▶第 1 期アクションプラン



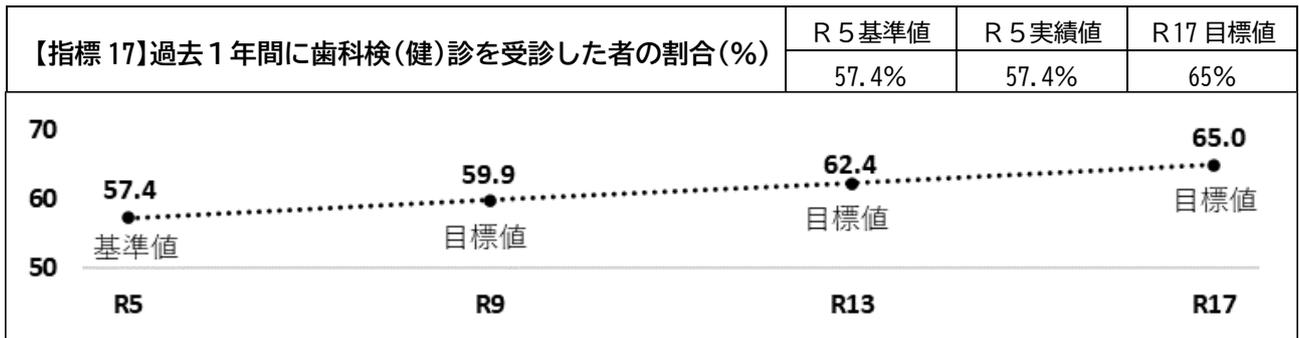
出典：妊婦歯科健康診査



出典：節目年齢歯科健診



出典：後期高齢者歯科口腔健診

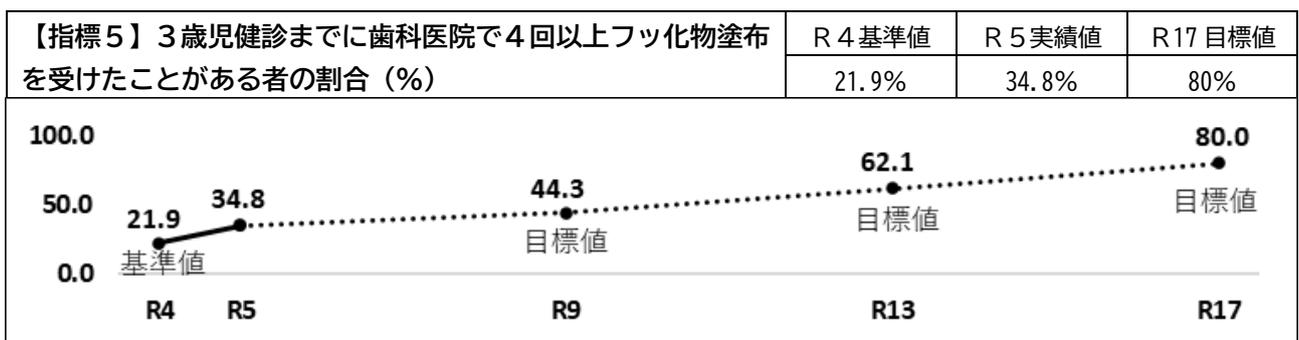


出典：R4 歯周病検診、R4 後期高齢者歯科口腔健診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康づくりに関する市民アンケート

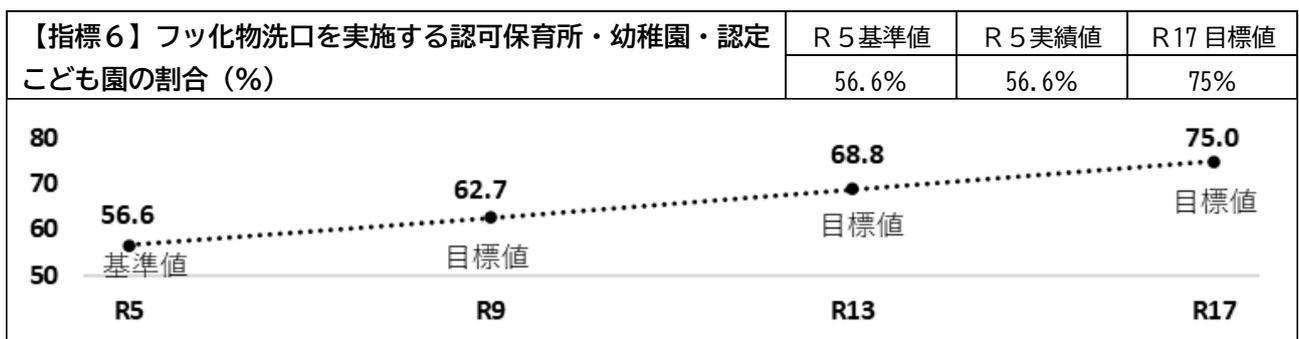
(1) 歯科疾患の予防 (④フッ化物の応用)

現状と課題

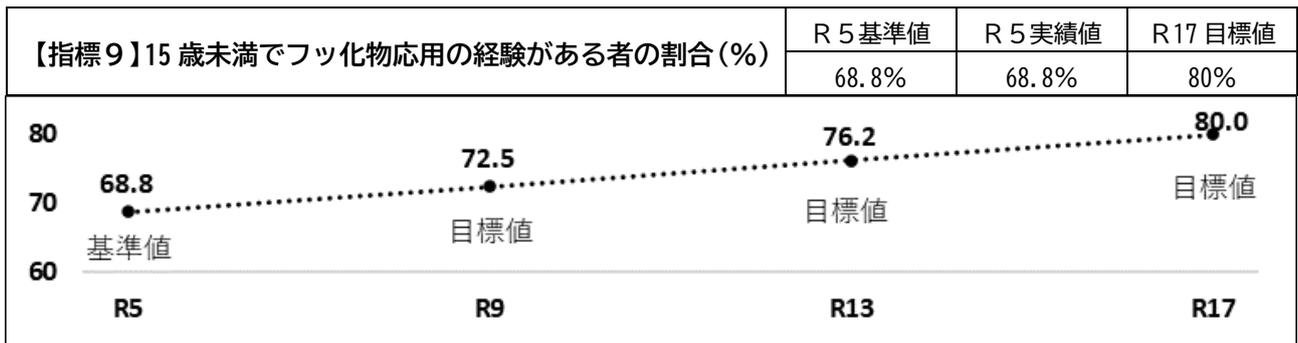
- ① 3歳児健診までに歯科医院で4回以上フッ化物塗布を受けたことがある者は令和5年度 34.8%である(指標5)。
- ② フッ化物洗口に取り組む施設(保育所等)が約半数にとどまっている(指標6)。▶第1期アクションプラン
- ③ 小学校におけるフッ化物洗口は現在1～2年生のみ実施しており、3年生以上が未実施である。▶第1期アクションプラン



出典：3歳児歯科健診結果



出典：フッ化物洗口事業

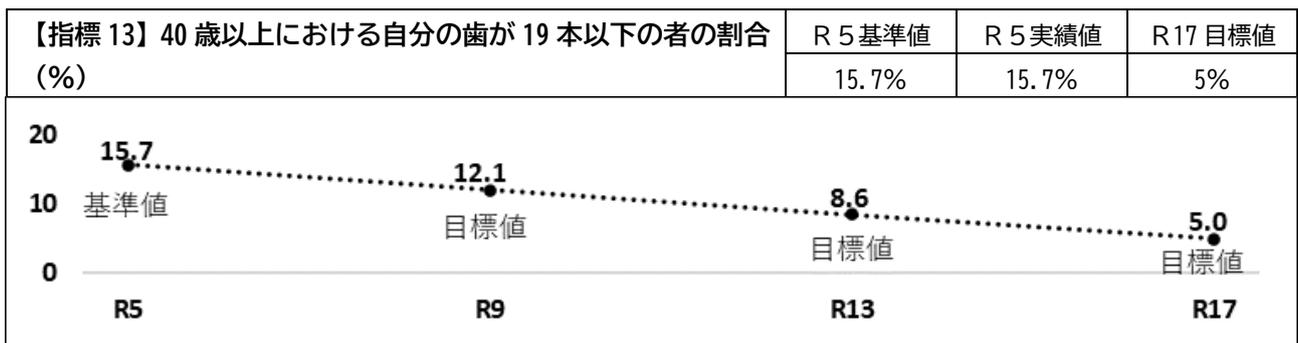


出典：健康づくりに関する市民アンケート

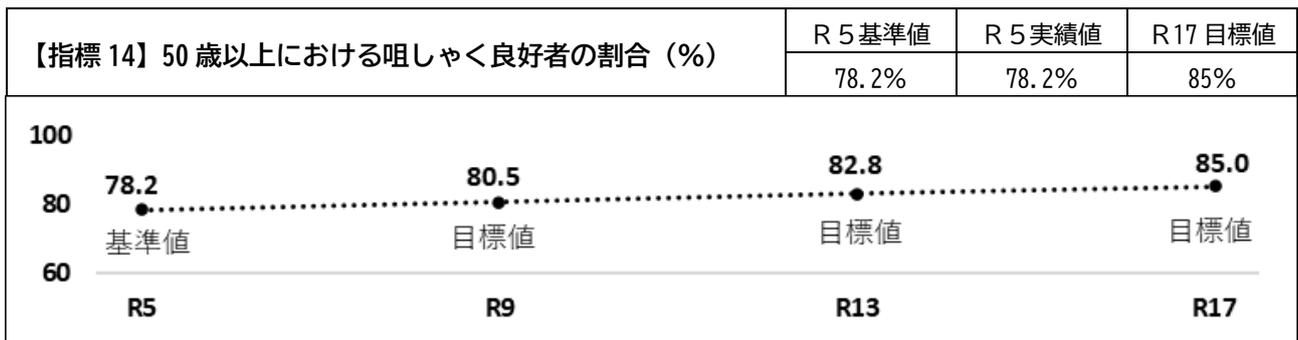
(2) 口腔機能の獲得、維持、向上 (①不良習癖と不正咬合、②咀嚼、③オーラルフレイル)

現状と課題

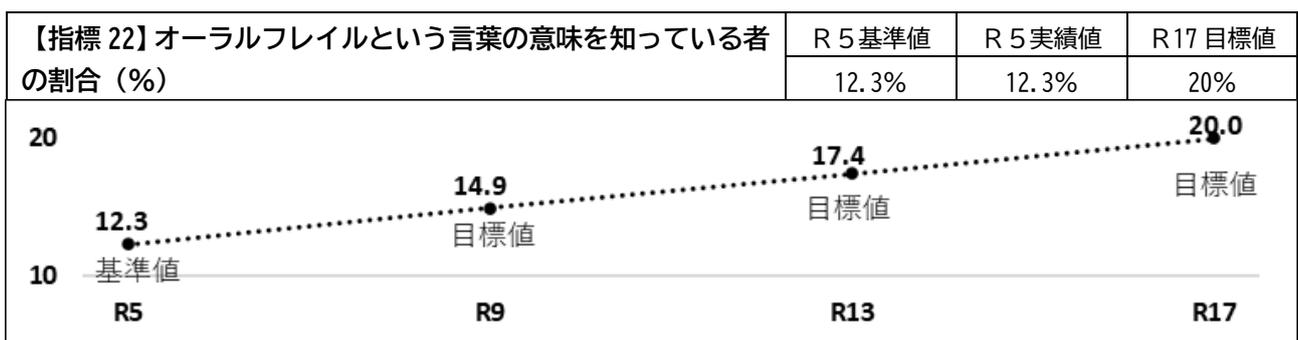
- ① 40歳以上で自分の歯が19本以下の者が15.7%いる(指標13)。年齢が上がるにつれて歯の本数が減ってくるため若い世代から歯の喪失防止について啓発を行う必要がある。
- ② オーラルフレイルという言葉の意味を知っている者が12.3%と低い(指標22)。令和22年(2040年)には本市の高齢化率も約33%の見込みとなっているためオーラルフレイル予防の重要性が大きくなる。



出典：R4 歯周病検診、R4 後期高齢者歯科口腔健診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康づくりに関する市民アンケート



出典：R4 歯周病検診、R4 後期高齢者歯科口腔健診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康づくりに関する市民アンケート



出典：健康づくりに関する市民アンケート

令和6年度の取組予定

歯科疾患の予防（むし歯、歯周病、歯科健診、フッ化物の応用）及び口腔機能の獲得・維持・向上（不良習癖、不正咬合、咀嚼、オーラルフレイル）に関する課題について、令和6年度に行政と関係機関・団体が取り組む内容は以下のとおりである。

【行政】

	令和6年度取組予定	ライフステージ	課名
1	【結婚・子育て応援サイト】 結婚・子育て応援サイトにおいて、引き続き、歯と口腔の健康づくりに関する情報を発信する。	妊娠期及び胎児期 乳幼児期 学齢期	こども政策課
2	【妊婦歯科健診】 ・産科医療機関において妊婦歯科健診受診勧奨の依頼を行う。 ・健康ポイント事業において、妊婦歯科健診もポイント付与の対象に追加する。	妊娠期及び胎児期	健康づくり推進課
3	【乳幼児ママ・パパ教室】 育児サークル等において、歯科医師等を招いて教室を実施する。 現在1回開催予定。	乳幼児期	こども支援課
4	【こどものむし歯予防研修会】 市内の保育所等職員を対象にこどものむし歯予防に関する研修会をオンラインで開催する。	乳幼児期	健康づくり推進課 保育幼稚園課
5	【保育所等におけるフッ化物洗口】 フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対して、洗口剤の配布や技術的支援を実施する。	乳幼児期	健康づくり推進課 各区保健こども課
6	【保育所等における歯科健康診断】 保育所等において、園歯科医師による歯科健診を実施する。	乳幼児期	保育幼稚園課
7	【出前講座の実施】 「食べない時の口から支援～幼児ベロタッチ健康法～」 実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム	乳幼児期	生涯学習課
8	【こどものフッ化物塗布】 1歳、1歳半、2歳、2歳半、3歳へのフッ化物塗布事業を継続しむし歯予防に取り組む。	乳幼児期	健康づくり推進課
9	【歯科健康教育】 小・中学校（再開）や高校（新規）において、むし歯・歯肉炎・歯周病予防の歯科健康教育を実施する。	学齢期	東区保健こども課
10	【小学校におけるフッ化物洗口】 フッ化物洗口の実施学年の拡大に向けて協議を行う。	学齢期	健康づくり推進課 健康教育課
11	【歯科健診】 就学時歯科健診及び学校歯科健診を実施	学齢期	健康教育課
12	【歯みがき巡回指導】 歯科医師・歯科衛生士による正しい歯みがきの定着と歯と口腔の健康づくりを推進するための専門的な指導を実施	学齢期	健康教育課
13	【歯たちの健診】 中央区管内の大学祭にて、若い世代を対象に歯と口腔の健康づくりに関する啓発を8020推進員等の市民ボランティアと協働で実施する。	成人期	中央区保健こども課 健康づくり推進課
14	【口腔ケア及び生活習慣病の予防等に関する啓発事業】 区民の口腔衛生や生活習慣病に対する関心を高めるとともに、地域の企業等や歯科医療機関と連携し、区民の健康づくりの活性化を図	成人期	南区保健こども課

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の企業等で講話(歯科疾患、生活習慣病、生活習慣病予防の食事)や口腔ケア体験等を実施 ・受講者の節目年齢歯科健診及びフッ化物塗布(事業)の啓発 		
15	<p>【節目年齢歯科健診】</p> <p>40歳、50歳、60歳、70歳の対象者に20歳と30歳を追加する。全員に個別勧奨通知を継続して実施する。</p>	成人期 高齢期	健康づくり推進課
16	<p>【節目年齢歯科健診】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校区の8020推進員へ周知し、知人などへ啓発を依頼。 ・地域のイベントにおいて受診勧奨チラシを配布し啓発を実施。 	成人期 高齢期	各区保健こども課
17	<p>【糖尿病受診勧奨値にある者への歯周病チェックの実施】</p> <p>国保・後期の健診結果から、糖尿受診勧奨値にある者への支援時に歯周病チェックを実施し、該当者に歯科受診や歯科口腔健診の勧奨をおこなう。</p> <p>対象者：特定健診の結果、HbA1c7.0%以上の訪問対象者</p>	成人期 高齢期	国保年金課
18	<p>【後期高齢者歯科口腔健康診査】</p> <p>後期高齢者の口腔機能の改善を図り、生活習慣病、誤嚥性肺炎等の疾患を予防するため、歯科口腔健康診査を実施</p> <p>※受診対象年齢：75歳以上</p>	高齢期	国保年金課
19	<p>【フレイル予防啓発事業】</p> <p>オーラルフレイル予防のために、後期高齢者健診から短期集中予防サービス(口腔)の該当者に、サービス利用の案内文を送付する</p> <p>対象：後期高齢者健診問診票で口腔の項目に該当した者</p>	高齢期	国保年金課
20	<p>【出前講座の実施】</p> <p>「舌を鍛えて健康長寿～ベロタッチ健康法～」</p> <p>実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム</p>	高齢期	生涯学習課
21	<p>【自立支援型地域ケア会議】</p> <p>令和5年度の取組を継続する。</p>	高齢期	介護保険課
22	<p>【介護予防教室における歯科講話】</p> <p>熊本市高齢者支援センター「ささえりあ」や福祉課と協働で実施する。</p>	高齢期	東区保健こども課
23	<p>【8020表彰】</p> <p>満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民(8020達成者)を表彰する。表彰式は開催せず表彰状を送付予定。</p> <p>※区役所と市歯科医師会会員の歯科医療機関において事前審査を実施</p>	高齢期	健康づくり推進課 各区保健こども課
24	<p>【中央区まちづくり事業(新規)】</p> <p>企業や地域団体と一体となり地域の健康意識の向上と健康な生活習慣の浸透を図る。歯と口腔の健康づくりに関する情報を提供するとともに、その重要性を啓発し、さらなる8020運動の推進と歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図る。地域団体やボランティア、民間事業者と協働し課題を共有しながら、地域全体で中央区の健康まちづくりに取り組んでいく。動画の作成や民間事業者と連携したイベントの開催(第1弾：8月18日開催)</p>	全ステージ	中央区保健こども課

【関係機関・団体】

	令和6年度取組予定	ライフステージ	団体名
1	【妊婦歯科健診】 妊婦に対して歯科健診と口腔保健指導を実施する。	妊娠期及び胎児期	熊本市歯科医師会
2	【妊婦歯科健診受診勧奨】 産科医療機関（会員医療機関）への妊婦歯科健診受診勧奨チラシなどの配布協力	妊娠期及び胎児期	熊本市医師会
3	【乳幼児健診】 ・栄養指導を行う際に虫歯予防の視点に立ち、し好品の与え方などの指導を行う。 ・フッ化物洗口に関する周知活動に協力する。	妊娠期及び胎児期 乳幼児期	熊本県栄養士会
4	【むし歯予防】 大学などの学園祭において、学生への歯と口の健康づくりに関する啓発の実施及び情報提供を行う。	妊娠期及び胎児期 成人期	8020健康づくりの会
5	【こどものフッ化物塗布事業】 1歳、2歳、2歳6か月の幼児にフッ化物を塗布	乳幼児期	熊本市歯科医師会
6	【こどものフッ化物塗布事業受診勧奨】 会員医療機関へのリーフレット、チラシなどの配布協力	乳幼児期	熊本市医師会
7	【子ども文化会館「歯の健康講座」】 幼児と保護者を対象に「子どもの健やかな成長のために」の講話と歯磨き指導を実施 日時 令和6年5月16日（木）会場 熊本市子ども文化会館	乳幼児期	熊本県歯科衛生士会
8	【フッ化物洗口紹介・推奨、歯磨き指導の充実】 フッ化物洗口の実施園を増やすとともに歯磨き指導を充実させる。設置者・園長会でフッ化物洗口はじめ歯磨き指導について課題点の紹介と実施率を向上させる。	乳幼児期	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
9	【ブロック研修会】 口腔関連の研修を予定している。	乳幼児期	熊本市保育園連盟
10	【子育てサークル支援・こどもの食育推進ネットワーク】 市作成のおやつレシピを活用し、おやつ正しい取り方や、生活リズムの重要性について啓発を行う。	乳幼児期	熊本市食生活改善推進員協議会
11	【むし歯予防】 ・子育てサークルや保育所などにおいて、むし歯予防に関する啓発を実施する。 ・こども文化会館や市保育園連盟主催わんぱくまつりにおいて、保護者と子どものむし歯予防に関する啓発を実施する。	乳幼児期	8020健康づくりの会
12	【学校健診、学校保健会】 学校健診および学校保健会を通して児童生徒に口腔保健について啓発する。	学齢期	熊本市歯科医師会
13	【歯磨き巡回指導】 「小学校歯磨き巡回指導」で、小学校児童を対象にむし歯予防の講話、指導を実施する。（10校）	学齢期	熊本市歯科医師会 熊本県歯科衛生士会 小学校校長会
14	【フッ化物洗口事業】（健康づくり推進課） 引き続き小学校1・2年生を対象に、各区の保健子ども課と学校が協力して実施する。	学齢期	小学校校長会
15	【薬物の歯に対する影響】 学校薬剤師が担当校において、薬物乱用防止教育を担当し、薬物の歯に対する影響を説明する。	学齢期	熊本市薬剤師会

16	<p>【PTA 会員への情報提供・啓発活動】</p> <p>担当課からの情報発信用宣材（チラシ等）があれば引き続き活用させていただきます、保護者も子どもと一緒に歯の健康維持について意識が高められるよう、情報提供と啓発活動に取り組む。</p> <p>紙媒体だけでなく、SNS なども駆使した情報発信の手段の拡張を模索する。</p>	学齢期	熊本市 PTA 協議会
17	<p>【食生活改善推進員が牽引するヘルスサポーター養成事業（若者世代）】</p> <p>高校生に、健康づくりのための食生活の重要性を伝え、健康づくりの担い手となる若者を育てる。</p>	学齢期	熊本市食生活改善推進員協議会
18	<p>【いきなり団子プロジェクト】</p> <p>郷土料理の継承のため、小中学生とその保護者を対象に、「熊本のごはん」レシピ集に掲載されている、いきなり団子等の郷土料理の調理実習を、小中学校と連携して行う。</p>	学齢期	熊本市食生活改善推進員協議会
19	<p>【歯みがき教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における歯みがき教室にて、歯科疾患予防の取組に関する支援を実施する。 ・サッカー教室における健康教育にて、むし歯予防に関する歯科啓発を実施する。 	学齢期	8020健康づくりの会
20	<p>【歯周病予防啓発チラシ】</p> <p>昨年度作成した啓発チラシをイベント等で配布し、歯周病予防を実施する。</p>	成人期	熊本県歯科衛生士会
21	<p>【情報の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市役所ロビーでの、歯と口の健康づくりに関する情報提供などを実施する。 ・熊本市民健康フェスティバルや笑顔ヘル C キャンペーンにおいて、歯と口の健康づくりに関する啓発及び情報提供を実施する。 	成人期	8020健康づくりの会
22	<p>【節目年齢歯科健診】</p> <p>対象者（20・30・40・50・60・70 歳）に歯科健診を実施</p>	成人期 高齢期	熊本市歯科医師会
23	<p>【生活歯援プログラム事業】</p> <p>熊本県歯科医師会及び熊本県歯科衛生士会と連携した「生活歯援プログラム事業」の継続実施。</p> <p>【特定健診とがん検診の同時実施における歯科検診実施】</p> <p>被扶養者の特定健診とがん検診の同時実施において、オプション検査として歯科検診（歯周組織検査）を追加することができる集団健診を実施する。</p>	成人期 高齢期	全国健康保険協会熊本支部
24	<p>【副作用について及び歯科受診推奨】</p> <p>各保険薬局にて、骨粗鬆薬や降圧剤等の歯に対する副作用を注意・喚起し、心配される患者様に対して歯科受診を推奨する。</p>	成人期 高齢期	熊本市薬剤師会
25	<p>【公開講座】</p> <p>リハ・口腔・栄養のテーマで令和 7 年度公開講座の企画をする。</p>	成人期 高齢期	熊本県栄養士会
26	<p>【地域ケア会議】</p> <p>低栄養予防及び改善・誤嚥性肺炎予防に関する食事栄養アドバイス</p>	成人期 高齢期	熊本県栄養士会
27	<p>【すこやか食生活改善講習会、高齢者サロン等への支援】</p> <p>生活習慣病予防を中心としたレシピを啓発するすこやか食生活改善講習会の実施。</p> <p>高齢者サロン等への低栄養予防やフレイル予防を中心とした食生活の啓発。</p>	成人期 高齢期	熊本市食生活改善推進員協議会
28	<p>【まちの保健室】</p>	成人期	熊本県看護協会

	健康相談時に口腔ケアの大切さについて伝える。	高齢期	
29	【高齢者健康講座】 お口と歯の健康 オーラルフレイル予防を目的としたお口の健康講座を実施。	高齢期	熊本県歯科衛生士会
30	【市民向け技工物の展示会と相談会】 技工物の展示を行い、技工物に対する知識をつける。また、相談会を行い、注意事項をアドバイスする。	高齢期	熊本市歯科技工士会
31	【短期集中サービス】 栄養改善プログラムにおいて訪問栄養指導	高齢期	熊本県栄養士会
32	・保健子ども課保健師等の共同での口腔フレイル予防の取り組み ・R5年度同様の取り組み	高齢期	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
33	【口腔ケア】 高齢者サロンや老人会において、唾液腺マッサージや口の機能を高める口腔体操などを実施する。	高齢期	8020健康づくりの会
34	訪問看護の際に、口腔内ケアを実施し必要に応じて訪問歯科診療等につなげる	全ステージ	熊本県看護協会

令和6年度の方向性

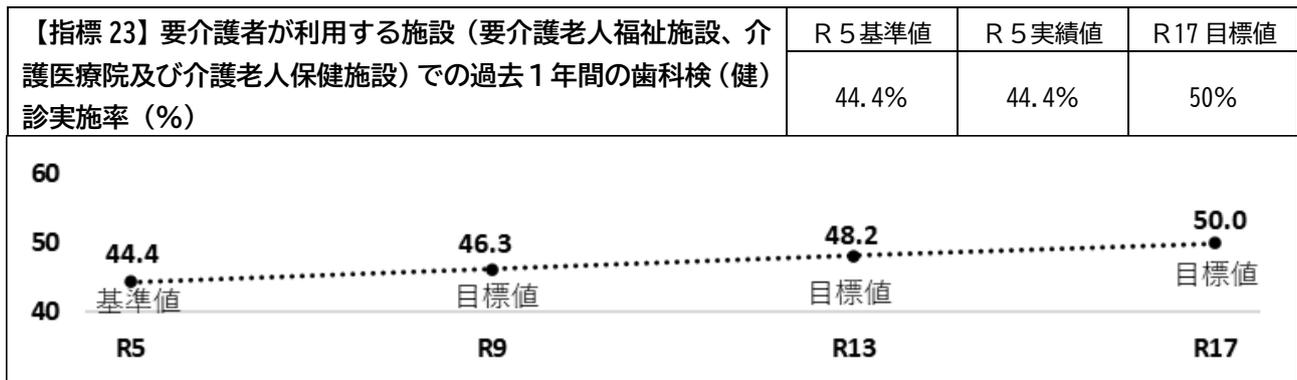
行政及び関係機関・団体がこどものむし歯有病率の改善や成人の歯周炎有病率の改善のために、歯と口腔の健康づくりの啓発や事業を実施する（こどものフッ化物塗布事業の周知強化、歯科健診受診勧奨の協力、イベントを通じた啓発など）。

Ⅱ 定期的に歯科検（健）診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進

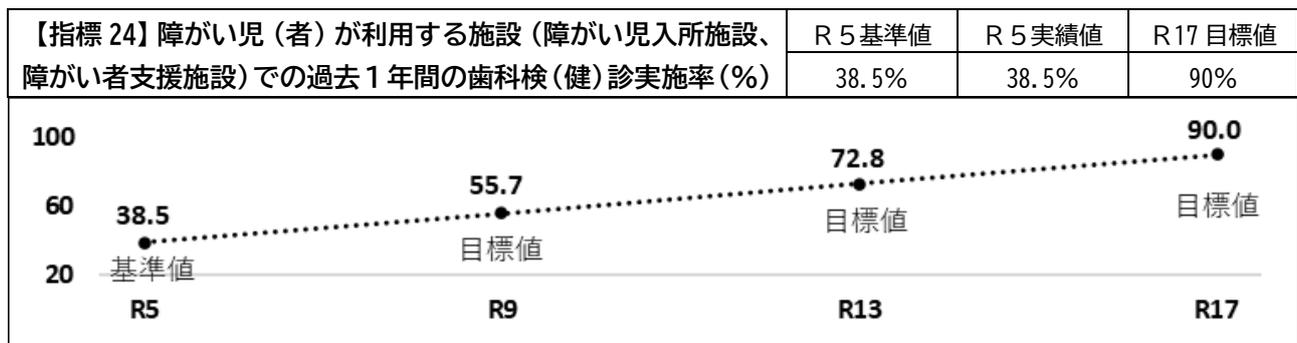
（１）施設での歯科検（健）診

現状と課題

- ① 要介護者が利用する施設での過去1年間の歯科検（健）診実施率が低い（指標23）。
- ② 障がい児者が利用する施設での過去1年間の歯科検（健）診実施率が低い（指標24）。障がいのある方は、障がいの種類や特性によって口腔衛生状態が悪くなりやすく、また歯科治療が困難になる場合も多いため歯科疾患の発症予防が重要となる。▶第1期アクションプラン



出典：R5 要介護高齢者施設アンケート



出典：R5 障がい児（者）施設アンケート

令和6年度取組予定

定期的に歯科検（健）診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進に関する課題について、令和6年度に行政と関係機関・団体が取り組む内容は以下のとおりである。

【行政】

	令和6年度取組予定	課名
1	【障がい者歯科に関する情報提供】 障がい者福祉ネットワークにおいて、本市の歯科保健事業（歯っぴー事業）等のサービス利用について説明し相互理解を深める。	東区保健こども課
2	【歯っぴー事業】 未就学児のうち身体障害者手帳、療育手帳又は歯の健康ノートを保有するものを対象として、口腔ケア、フッ化物塗布及び口腔衛生指導を実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
3	【歯っぴー事業の周知】 ・パンフレットを活用して歯の健康について説明し、意識向上を促していく。 ・相談時、必要に応じて保護者へ情報提供を行う。	こども発達支援センター

4	【障がい児者施設における歯科検（健）診】 歯科検（健）診の未実施施設においては、必要に応じて、歯科検（健）診を実施するための協議を庁内関係課及び関係団体と行う。	健康づくり推進課 障がい福祉課
5	【障がい児者施設における歯科検（健）診】 熊本市障がい児（者）口腔ケア事業を通し、障がい児（者）施設へ歯科検（健）診の実施を促す。	障がい福祉課
6	【実施医療機関の拡大】 障がい児者への歯科治療等が可能な熊本県歯科医師会口腔保健センターを節目年齢歯科健診やこどものフッ化物塗布事業などの対象医療機関とする。	健康づくり推進課

【関係機関・団体】

	令和6年度取組予定	団体名
1	【障がい児者施設における歯科検（健）診】 ・「障がい児（者）口腔ケア事業」で施設入所者に歯科保健指導と口腔ケアを実施 ・施設もしくは行政からの歯科検診の依頼に対応するよう協議	熊本市歯科医師会 熊本県歯科衛生士会
2	在宅療養者に対する訪問看護の際に、口腔内ケアを実施し必要に応じ訪問歯科診療等に繋げる。	熊本県看護協会
3	【在宅訪問歯科診療】 在宅訪問歯科診療の資料を各保険薬局で配布する。	熊本市薬剤師会

令和6年度の方向性

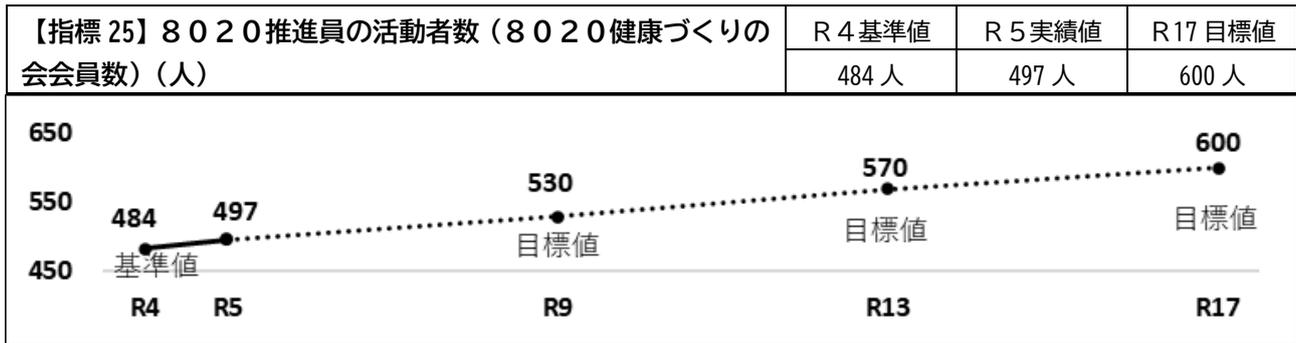
障がい児者施設の歯科検（健）診実施に向けた協議を庁内関係課及び関係団体と行う。

Ⅲ 誰もが等しく歯と口腔の健康づくりができる社会環境の整備

(1) 多様な関係者（保健・医療・福祉・労働衛生・教育・食育等）との協働・協力の強化による総合的な歯と口腔の健康づくりの推進及び歯と口腔の健康づくりに関する知識を有する人材の養成と支援

現状と課題

① 8020健康づくりの会の会員は増加傾向にあるものの（指標 25）、会員がいない校区や少ない校区があるため、会員増加に向けた取組を行う必要がある。▶第1期アクションプラン

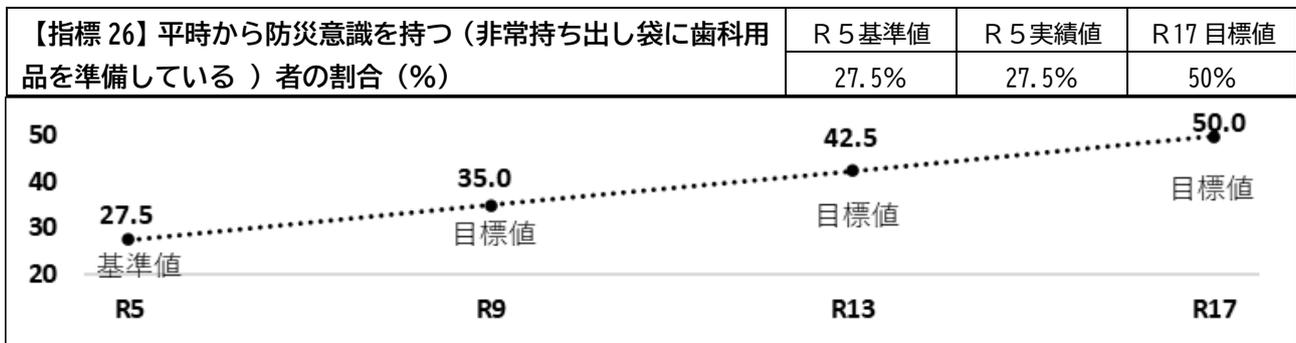


出典：8020健康づくりの会総会資料

(2) 災害における歯科保健対策

現状と課題

① 平時から防災意識を持つ者の割合が約3割である（指標 26）。熊本地震を経験したものの時間とともに防災意識が下がってくるため、継続した啓発を行う必要がある。



出典：健康づくりに関する市民アンケート

令和6年度取組予定

誰もが等しく歯と口腔の健康づくりができる社会環境の整備に関する課題について、令和6年度に行政と関係機関・団体が取り組む内容は以下のとおりである。

【行政】

	令和6年度取組予定	課名
1	【8020推進員の養成と活動支援】 ・8020推進員養成講座の受講勧奨を地域組織（自治連、社協、PTA協議会等）や庁内関係課（公民館等）と連携し、当事業の周知強化を図る。地域活動に参加する機会を増や	各区保健子ども課 健康づくり推進課

	し、実際に体験してもらうことで、活動に対する理解を深め、会員数の増加を目指す。 ・民生委員・児童委員協議会会長会や会員が少ない校区の校区民生員・児童員協議会で8020推進員の必要性を説明するとともに8020推進員養成講座の周知を行い、人材発掘を行う。 ・会員数が1人以下の校区に、支部会員を中心に地域のまつりや行事等にて養成講座の周知強化を行う。 ・地域における活動の充実を図るため支援を強化する。 ※令和6年度から「8020推進員養成講座」に名称を変更	
2	【災害に備えた啓発の強化】 校区イベント等において、非常持ち出し用品に歯科用品を準備しておくことや口腔衛生管理の重要性について関係団体などと連携を図り、様々な機会に啓発を行う。	各区保健子ども課 健康づくり推進課
3	【災害に備えた啓発の強化】 災害時に備えた啓発資料の作成や市ホームページでの広報を行う。	健康づくり推進課

【関係機関・団体】

	令和6年度取組予定	団体名
1	【8020推進員の会員増加】 8020推進員が少ない校区やいない校区を中心に地域住民、PTA、その他の団体に推進員の役割や養成講座の周知を働きかけ、人材発掘を行う。	8020健康づくりの会
2	【推進活動】 8020推進員養成講座への支援や、スキルアップ研修会などを開催し、地域における8020運動の推進を図る。	8020健康づくりの会
3	【8020推進員の会員養成】 8020推進員養成のための研修要請に対応する。	熊本市歯科医師会
4	【8020推進員の活動協力】 8020推進員とともにイベントに参加し協力する。	熊本市歯科医師会
5	校区のまちづくり委員会などと協力して、地域に情報発信し、8020運動の推進に取り組む。	熊本市PTA協議会
6	【関連活動の後援】 8020健康づくりの会の活動について後援を行い、周知活動に協力する。	熊本県栄養士会
7	【食生活改善推進員活動の活性化と新たな養成講座受講生の発掘】 会員間の連絡を密に行い、食生活改善推進員活動の活性化を図る。また会員増のため養成講座受講生の発掘を精力的に行う。	熊本市食生活改善推進員協議会
8	【災害に備えた食の備蓄やパッククッキングの調理実習】 災害に備えた食料備蓄についてのお話や、災害時のパッククッキングの方法等についての啓発の実施。	熊本市食生活改善推進員協議会

令和6年度の方向性

8020推進員養成講座の周知を強化する。また、災害時に備えた啓発について新たに市ホームページでの広報を行うことができるよう準備を行う。